

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（エリア担当）	・節電のための関東脱出などにより、夏休みに入る頃から観光は期待できる。また、自粛ムードも薄れて沖縄県にとっては追い風が来ると予測する。
		衣料品専門店（経営者）	・例年と比べて、いろいろな状況があり先の見えない時期が続いたが、やっと夏本番という感じができており、季節物に期待したい。
		衣料品専門店（経営者）	・復興へ向けて経済ももっと動き出すとみる。夏のシーズンは観光客も戻ってくるのでは、と期待している。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・東日本大震災の騒動も少し落ち着いてきている。また被災者が多く沖縄へ移住してきており、不動産業に活気がある。夏には、沖縄の海やエイサー等の夏祭りに癒されにくる人もいるので、観光客に期待している。
		観光型ホテル（総支配人）	・東日本大震災を受けた東日本での旅行マインドの回復と、省エネ旅行の動きの高まりにより、予約は好調である。家族旅行がメインだが、前年並みの人数は確保できる見込みである。ただし、客単価は10～20%減で、売上は望めない。
		通信会社（店長）	・5月後半以降、外国人の来客数が急に増えだし、販売数も伸びている。夏モデルの発売もあるため、6月以降は期待が持てる。
	通信会社（サービス担当）	・スマートフォンの新商品が発売され、売上が伸びると予想される。	
	変わらない	百貨店（営業担当）	・夏物クリアランスを控え商品の確保が問題となるが、現状では東日本大震災の影響で品薄の売場もあり、商品が無ければ売上も浮上する見込みが無い。
		スーパー（販売企画担当）	・東日本大震災の影響で消費マインドは落ちているなか、レトルト品やインスタント品などの供給不足も出てきている。また、野菜の相場暴落や魚の水揚げ不足なども販売に影響している現状であり、将来的な景気回復は希望が持てない。
		コンビニ（経営者）	・お中元商品の売上高は期待できない。
		コンビニ（経営者）	・物流の不安定は、数か月は続くともみている。
		コンビニ（エリア担当）	・たばこの供給が安定すれば、ある程度の来客数の戻りは期待できるが、たばこ以外の商品の売上が追い付かず、収入率は依然として下がったままである。この傾向は今後もしばらく続く。経費も極端に削減できないため、収益性の低下も同様に今後続く。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・東日本大震災直後は落ち込みが激しかったが、若干回復基調にある。個人の旅行需要は動き始めている状況である。しかしながら大きな予約受注の増加ははまだ見込めず、法人団体旅行の落ち込みは激しい。観光は厳しい状況が続くと予測される。
ゴルフ場（経営者）		・福島第一原子力発電所事故、東日本大震災、諸々の影響があり、客観的に負の要因がかなり残っているものとみている。我慢の状況が何か月か後まで引きずりそうな感がある。	
住宅販売会社（総務・企画分野）	・現在が極端に悪いということではないと感じており、今月と同様の状況が続くとみている。受注に至る客の判断が慎重であるし、資材価格のアップも予想されるため、良くなることも悪くなることも判断しにくい。		
やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・競合の影響が大きく、来客数、1人当たり買上点数が減少傾向にあり、売上の回復は厳しい見込みである。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・津波、東日本大震災、電力不足、沖縄では台風による納品遅れ等の被害、書籍業界では紙不足等に伴う発行部数の減少による売上減少で、このような時期に到底景気が良くなる要素が無い。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災の影響で観光客の来客数も少なくなっており、地元客も、わずかに少なくなっている感がある。福島第一原子力発電所事故の影響もあるのではないかと危惧される。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・大体本土よりも1月遅れて影響が出てくる。しばらくは外食に出る回数が減ると見込む。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・プロジェクトルームが全て埋まる状況にある。契約金額は決して高いとはいえないが、安定的な仕事の確保が望める状況になりつつある。東日本大震災の影響で、東京に集中していた仕事が地方に分散しだしているとの話を聞いたことがあったが、この影響とも推測される。
	変わらない	輸送業（営業担当）	・県内市場において大きく需要が増える事は無く、現状維持だと予測する。ただし物流面で言えば海上輸送の燃料コスト増が予定されており、各業態の収益圧迫になる要因はある。

	輸送業（代表者）	・東日本大震災や原燃料価格の高騰など不安要素は多いが、上半期は現状どおりと見込む。
	広告代理店（営業担当）	・やはり東日本大震災や福島第一原子力発電所事故に端を発した社会問題は生活者の消費マインドを低下させ、今後の企業側の投資意欲を抑制するよう感じられる。
	コピーサービス業（営業担当）	・例年どおり、これから夏に向けて受注量が減っていく。
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・民間工事は個人住宅建設が順調にあるが、公共工事は減少し、大型案件が無く全体では減少の見通しである。
	建設業（経営者）	・東日本大震災後の心理的影響もあり、住宅の相談はあるが、契約・着工にちゅうちょしている客が多い。
	会計事務所（所長）	・東日本大震災後の一時的なショックが、一旦落ち着いているような感があるが、今後、沖縄の観光が本格化する夏場以降に更に悪影響が出るのではと懸念する。
悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）
		学校 [専門学校]（就職担当）
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（総務担当）
	悪くなる	-